

社団法人 日本ボディビル連盟
平成24年度臨時總會議事録（抜粋）

- ◇ 日 時 平成24年10月6日(土) 午後3時00分開会
- ◇ 場 所 ホテル新大阪 東口 701 研修ルーム
533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島 1-20-33 TEL.06-6322-8800
- ◇ 開会の辞 吉田進副会長より開会が宣言された。
- ◇ 会長挨拶 平成 24 年度臨時總會を開催しましたところ皆様全国よりお集まりいただき心より感謝いたします。明日は 58 回目の日本選手権です。58 年間我々は一歩一歩あゆんで今日のボディビルを積み上げて参りました。しかしこれからはスポーツ競技としても健康づくりとしてもまた文化的な価値観を作る上においても我々の正念場だと思います。そういう意味で皆様方のご協力をあらためてお願いする次第です。本日は議案に沿いまして種々検討、決議したいと思っておりますのでよろしくご協力お願い致します。
- ◇ 議長選出 定款第 22 条により、玉利齊会長の指名があり、吉田進副会長の議長選出が承認された。
- ◇ 定足数の確認 正会員総数 58 名。本日出席正会員 31 名、委任状による出席正会員 24 名、合計出席正会員 55 名、欠席 3 名により、定款第 5 章第 24 条に定める 2 分の 1 以上の定足数を満たし、有効に成立していることが事務局より報告された(委任者の内容を説明)。

【第一号議案】 理事解任

磯野武夫、臼井オサム、宮本譲治、政枝勝憲の各理事は以下の行為があり、理事として不適任であるとの理由で、解任の議案が提出された。

- ①連盟に不正があるという根拠のない文書を公認クラブや関連団体に送付した。
- ②理事会・総会に於て議長の制止を無視し発言を繰り返し会議の進行を妨害した。
- ③ 特例社団法人である連盟の会長は代表理事でない。自分たちは代表理事である等、根拠のない主張を繰り返し連盟を混乱させた。
- ④突然事務局に押しかけ、一方的に帳簿、領収書の開示を求め、JADAとの会議など事務局の運営を妨害した。

上記説明が事務局よりあった。議長は磯野武夫理事及び宮本譲治理事に弁明を許したところ、両理事から、以下の弁明があった。

①磯野武夫理事

今まで主張してきたことは、玉利齊会長に対して言ったことであって、連盟に対して言ったことではない。平成17年から21年までスポンサー紹介料が約500万円で規程以上に支払っている。

②宮本譲治理事

スポンサー紹介料の繰越処理はルール、規程がなく民主的でない。

これに対し、小西康道事務局長より、4名の理事の行為が連盟に宛ててなされていたこと、及びスポンサー紹介料の処理がルールに則り処理されていることが報告され、その後議案を諮った結果、正会員現在数58名のところ、賛成50名、反対3名、欠席と棄権5名で上記4名の理事の解任が承認された。

【第二号議案】 中国・四国ブロック代表理事の変更

1. 鳥取県ボディビル連盟理事長谷本明禧氏より報告

中国・四国ブロック代表理事 (旧) 沖西潤次氏 広島県連盟会長(闘病の為)
(新) 谷本明禧氏 鳥取県連盟理事長

平成 24 年 8 月 18 日(土)広島県で行われた中国・四国ブロック会議に於いて新ブロック代表理事に推薦されたことが谷本明禧正会員より説明があり、賛成多数で承認された。

【第三号議案】 奈良県ボディビル連盟設立願

奈良県ボディビル連盟準備責任者 花田秀彦氏より申請(平成 25 年度より)があったことが事務局より説明があり、関西ブロック、奈良県にあった公認クラブなどの状況を確認し、承認する方向で今回は保留とした。また、障害者の連盟設立にも積極的なので執行部と連絡をして協力してもらうこととした。

【第四号議案】 平成 25 年度主催大会、東・西日本大会開催申請及び承認

平成25年度申請

日本選手権(実行委員会)	10月14日(月祝)メルパルク東京
日本ジュニア選手権(実行委員会)	10月14日(月祝)メルパルク東京
全日本高校生選手権(実行委員会)	10月14日(月祝)メルパルク東京
日本クラス別選手権(北海道連盟)	7月21日(日)北海道 ロイトン札幌ホテル
日本女子チャレンジカップ選手権(日本社会人連盟)	9月1日(日)東京品川区 きゅりあん
ミス21健康美大会(日本社会人連盟)	9月1日(日)東京品川区 きゅりあん
日本マスターズ選手権(マスターズ委員会)	9月15日(日)沖縄県コンベンションセンター
オールジャパンミスフィットネス選手権(大阪連盟)	8月25日(日)エルおおさか
オールジャパンミスボディフィットネス選手権(大阪連盟)	8月25日(日)エルおおさか
日本クラシック選手権	8月25日(日)エルおおさか
ジャパンオープン(福岡県連盟)	未定

平成26年度申請

日本選手権(実行委員会)	10月12日(日)メルパルク大阪
日本ジュニア選手権(実行委員会)	10月12日(日)メルパルク大阪
全日本高校生選手権(実行委員会)	10月12日(日)メルパルク大阪
日本クラス別選手権	
日本女子チャレンジカップ選手権(日本社会人連盟)	9月 日(日)東京品川区 きゅりあん
ミス21健康美大会(日本社会人連盟)	9月 日(日)東京品川区 きゅりあん
日本マスターズ選手権(マスターズ委員会)	
オールジャパンミスフィットネス選手権	
オールジャパンミスボディフィットネス選手権	
日本クラシック選手権	
ジャパンオープン	

上記説明が事務局よりあり、賛成多数で承認された。尚、ジャパンオープン選手権は、総会后両県の話合いにより、埼玉県より、26年度にアジア選手権開催を視野に福岡県に変更となった。

【第五号議案】 規程の改定

1. 国内旅費規程

- ①第1条出張、職員を挿入、第4条日当を挿入
- ②第7条に出張日当(宿泊) 2,500円/日 を追加

2. 給与規則

- (旧) 第3条 賃金は20日までを計算し、当月25日(その日が休日の時はその前日)に支払う
(新) 第3条 賃金は月末までを計算し、翌月10日(その日が休日の時はその前日)に支払う

上記説明が事務局よりあり、賛成多数で承認された。

【報告】

1. 審査員資格停止

磯野武夫、臼井オサム、宮本譲治、政枝勝憲の各正会員は当連盟の規律を乱す行為で審査員として不適任の為、公認審査員の無期限の資格停止(賞罰規程第5条処分の種類及び決定)が、理事会で承認(全会一致)されたことが報告された。

2. 新規加盟クラブ及び退会クラブについて

1) 退会クラブ

(1) 岐阜県連盟

トレーニングジム・アトラス 佐藤世志光 代表 退会:会員減少

(2) 栃木県連盟

ヤマシタ総合トレーニングセンター 山下一成 代表 退会:運営は継続

2) その他 変更

(1) 日本社会人連盟 NECボディビルクラブ(代表者変更)

五十嵐清四郎氏から南秀孝氏へ

(2) 岡山県連盟 ユニバース・トレーニング・スタジオ(代表者変更)

呉屋幸一氏から山崎浩一郎氏へ

(3) 広島県連盟 フィットネスクラブ エイブル広島(代表者変更)

菅原一基氏から前村和佳氏へ

(4) 沖縄県連盟(同好会名称変更) 大城和生代表

YONABARUボディビル同好会からMUSCLE PIT YONABARUボディビル同好会へ

以上が、理事会で承認(全会一致)されたことが報告された。

3. アンチドーピング委員会(暫定聴聞会)

本年度は、2名の陽性者(新井弘道選手、久松一貴選手)が出たことが報告された。これを何とかゼロにするように考えていることと、イーランニング(インターネット上の教育)があり、この教育を受けないと大会に出場できない方向性を考えていることが、青田正順アンチドーピング委員会事務局長より報告された。

4. 他団体出場選手の対応

全国高校生ボディビル選手権出場申込の伊藤理樹選手は、JPC の大会に出場したが、本人より今後 JPC の大会に出場しない。アンチドーピングに徹する。JBBF のルールを遵守するとの誓約書があり、理事会で大会出場について全会一致で承認されたことが報告された。

5. 公益法人移行申請の進捗状況

平成 25 年4月新公益法人設立を目標に申請書類の整備をして、前回承認の定款他を11月までに申請することが報告された。

6. 株式会社ファイン・ラボ

平成 24 年 8 月 31 日株式会社ファイン・ラボが大会スポンサーとなり、賛助会員として入会されたことが報告された。

7. 野沢秀雄正会員著「カラダを大きくする」を出版

指導委員の野沢秀雄正会員が「カラダを大きくする」を出版することが説明され、連盟としても協力することが報告された。

8. 日本選手権運営について

役員分担などについて青田正順実行委員長より説明された。

9. JBBF指導員講習会

平成 24 年 12 月 1 日、2 日の二日間で、国立スポーツ科学センター(JISS)にて開催されることが指導委員会より説明され、多くの受講してもらいたいと全国の正会員に依頼された。